

学習指導案

指導者 中野 清也 印

- 1 日時・場所 平成26年 8月20日(月) 1校時 電気電子科3年教室
- 2 学級 電気電子科3年 男子12名 計12名
- 3 教材教科書名 電力技術2(実教出版)
- 4 単元 自動制御
- 5 単元の目標
- 6 単元指導の計画
 - (1) 自動制御の概要 1時間
 - (2) シーケンス制御 7時間
 - (3) フィードバック制御 6時間
- 7 本時の指導
 - (1) 目標 自動制御は私たちの生活に密接に関わっている。また、多くの工場の生産設備なども自動制御で制御されていることなどを説明し、将来工場での生産設備での作業に従事した場合のトラブル対応について考えさせる。
 - (2) 資料 プリント
 - (3) 本時の指導計画

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価の観点と評価方法
導入 5分	本時の目標を確認する。 身近なもので自動制御されていると思われるものを考え発表する。	目標をノートに書写する。 生徒は考え発表する。	目標を板書する、 自動制御されているものについて発問する。	
展開 40分	家庭内の自動化(HA)、事務処理の自動化(OA)、工場の自動化(FA)など、自動化の技術について理解する。 工場の多くの設備は自動制御によって制御されており、自身がその設備の担当者となった場合、トラブルが発生した場合の対応について個人で考えさせる。	ノートに書写する。 設備のトラブルの対応について個人で考える。	自動化の技術について板書する。 プリントを配布し、個人で考えさせる。	「関心・意欲・態度」 (学習活動の観察による)

	<p>トラブルの対応についてグループで考えさせ発表させる。</p> <p>トラブルが発生した場合の対応について考えさせる。</p>	<p>設備のトラブルの対応についてグループで話し発表する。</p>	<p>3人のグループを編成してグループで話し発表させる。</p>	<p>「関心・意欲・態度」 (課題プリントの記入状況による)</p>
<p>終結 5分</p>	<p>自動制御とはどのような場所で使われているのか確認する。また、工場の設備にトラブルが発生した場合の対応を確認する。</p>	<p>自動制御とはどのような場所で行われているのか確認する。工場の設備にトラブルが発生した場合の対応を確認する。</p>	<p>自動制御とはどのような場所で行われているのか確認させる。工場の設備にトラブルが発生した場合の対応を確認させる。</p>	<p>「知識・理解」 (課題プリントの記入内容による)</p>